

アフリカの人々の暮らしとその変化

所属	名古屋市立笹島中学校	実践者	野口 哲平
対象	中学1年生	時間数	5時間(50分×5)
場所	教室	実践教科	社会科
ねらい	アフリカの文化・環境について関心を持ち、特色をとらえる活動を通じて、既知の知識と未知の資料を比較して、同一性や違いに気づくことができるようにする。		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	<p>◆アフリカをながめて</p> <p>①アフリカについての話をする。 →ガーナで撮影してきた写真をみせ、日本と同じ所や違うところがあることに気づかせる。</p> <p>②本時の課題をつかませるため、学習課題を発表する。</p> <p>③課題の進め方を発表する。 →各班に農業・都市・人々の様子についての資料、水性マーカー、青付箋、赤付箋を配布する。</p> <p>(1) 見つける(個人作業) ・同一性は青付箋に書き込み、違いは、赤付箋に書き込み、資料に貼り付ける。</p> <p>(2) 話し合う(班作業) ・自分が見つけた同一性や違いを班員に伝える。</p> <p>(3) 作り上げる(班活動) ・班でまとめた意見を元に、写真切り貼り用紙A2サイズに、切り取った写真と付箋を貼り付け、発表用に作り上げる。</p> <p>④本時の学習を振り返る。 →次回の発表に向けて、班の意見を整理する。</p>	<p>生徒が意外に感じるものがらや身近に関連しているアフリカの事物について資料を提示して、日本との同一性・違いを見つけさせる。</p> <p>話し合いが進んでいない班には、決め方のアドバイスをする。</p> <p>発表時間は3分ほどなので、限られた時間で何を発表するか、考えて選ぶように指示する。(時間を制限するのは、効率と公正さを学ぶ下地を作るため。)</p> <p>345の授業には、12で作った資料を使いながら進める。</p>
成果	アフリカ(ガーナが主)と日本の同一性や違いに気づくことで、本質的なモノが変わらないことに気づけた。		
課題	中学校1年生で、ワークショップ形式の授業は数回しかやっていなかったため、導入部分をわかりやすくする工夫が必要であった。		
備考	学校の職員の授業参観と組み合わせて行ったので、授業後に改善点を他の職員から提案してもらうことができた。		

[授業実践の詳細]

1 時限目「アフリカをながめて」

1 子どもの活動の流れ

- ① アフリカについての教職員の体験談を聞く。
- ② 課題の進め方を聞く。
- ③ 各班で農業・都市・人々についての資料を見て、日本との同一性や違いを見つける。
- ④ 自分が見つけた同一性や違いを、班員に伝える。
- ⑤ 班でまとめた意見を元に、写真切り貼り用紙に切り取った写真と付箋を貼り付けて発表用に作り上げる。

この時限のねらい

アフリカの文化・環境について関心を持ち、特色を捉える活動を通じて、既知に知識と未知の資料を比較して、同一性や違いに気づくことができるようにする。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 教職員の実体験に基づく話を聞いて、アフリカについての関心が高まった。
- ◇ 資料から同一性や違いを見つける学習活動により、遠く離れた国を身近に感じた。
- ◇ 全体に向けて発表することを選び、班員同士で話し合いながらまとめることができた。

3 使用した教材

- <教材1> 模造紙・裏写りしない水性ペン(中字)
- <教材2> 違い・同一性を探するためのプリント
- <教材3> パワーポイント

2 時限目「アフリカをながめて」

1 子どもの活動の流れ

- ① 前回まとめた内容を前に立ち、班ごとに説明をする。
- ② 他の班の話を聞いて、自分たちでは気づけなかったことをまとめる。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 同一性と違いを見つけながら発表できた。
- ◇ 自分たちとは違う所に注目したり、同じ所に気づいた班の意見を質問やメモすることができた。

この時限のねらい

前回調べた内容で、自分たちが気になった事を他の班に伝える。他の班の発表で、気になったことは、質問やメモをする。

3 使用した教材

- <教材1> 前回作った、模造紙

3 時限目「アフリカの歩みと多様な民族」

4 時限目「伝統的な農業の今」

5 時限目「モノカルチャー経済と暮らし」

1 子どもの活動の流れ

- ① 教科書を読む。
- ② 1限目で使った写真を見て、教科書に書かれている内容が実際に社会的事象としてあることを確認する。
- ③ ノートにまとめる。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 教科書に載っていることが、現地と繋がっていることを知ることで、単元への興味が深くなった。
- ◇ 教科書を使いながら、学校の授業を取り組むことで、国際理解に繋がることが分かった。

3 使用した教材

<教材> 教科書・資料集、模造紙

この時限のねらい

教育指導要領を大きく変更せずに、ガーナで学んだこと・前回の授業で使った資料を活かして、子ども達の関心・意欲を育てる。

■ 全体を通して

1 授業の様子

